様式第11号(第7条関係)

出雲ドーム等使用料減額決定通知書

|  |
| --- |
| 年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　様出雲市長　　　　　　　　　　印下記のとおり、決定したので通知します。 |
| 催物等の名称 | 　 |
| 使用期間 | 　　　　年　　月　　日　　時 ～　　　年　　月　　日　　時　 |
| 使用施設 | 　 |
| 催物等の概要 | 　 |
| 減免申請理由 | 　 |
| 使用料 | 施設等名 | 正規の使用料 | 減免率 | 減免額 | 減免後の使用料 |
| 　 | 円 | ％ | 円 | 円 |
| 　 | 円 | ％ | 円 | 円 |
| 　 | 円 | ％ | 円 | 円 |
| 合計 | 円 | 　 | 円 | 円 |
| 備考 | 　 |

１　この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して３か月以内に、出雲市長に対して審査請求をすることができます。

２　処分の取消しの訴えについては、上記１の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができませんが、次のいずれかに該当する場合は、この裁決を経ずに訴訟を提起することができます。

（１）審査請求があった日から３か月を経過しても裁決がないとき。

（２）処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要が

あるとき。

（３）その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

なお、上記の場合の処分の取消しの訴えは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６か月以内に、出雲市を被告として（訴訟において出雲市を代表する者は出雲市長となります。）、提起することができます。

３　ただし、上記の期間が経過する前に、この処分があった日の翌日から起算して１年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することはできなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分があった日の翌日から起算して１年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。